

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 33 週（ 2026/8/10～8/16 ） 感染症発生動向調査速報値（ 2026/8/19 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **33** 人、定点医療機関当たり **0.69** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

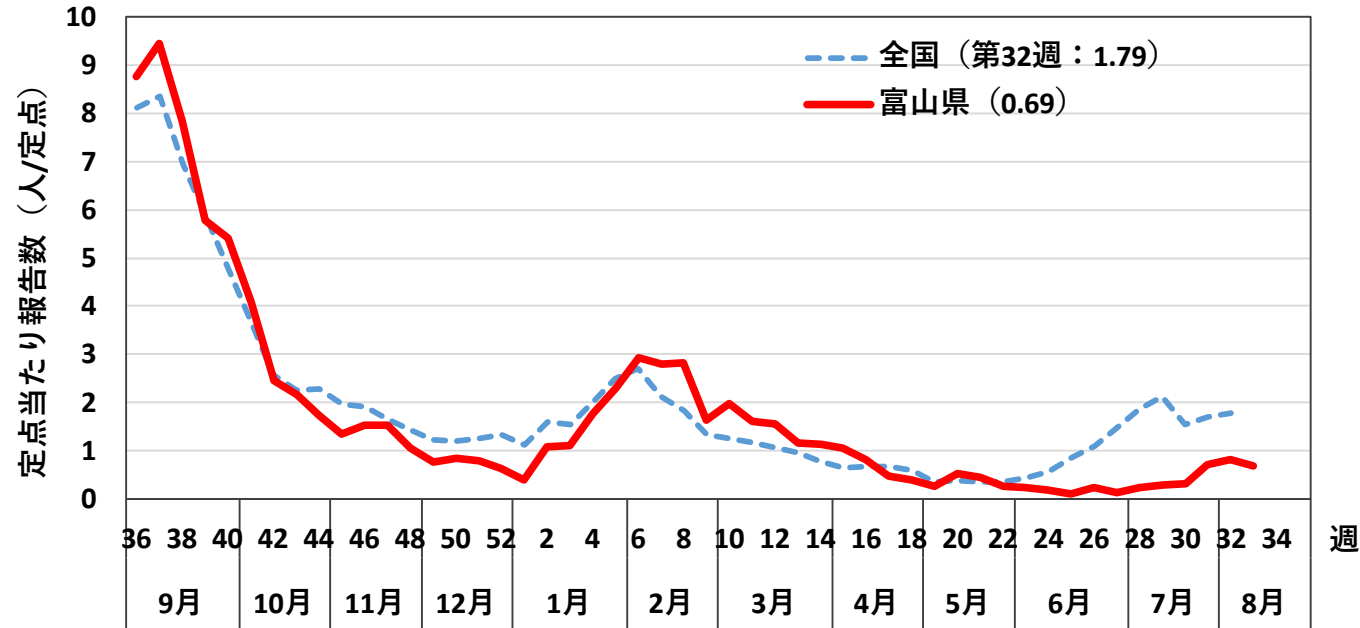
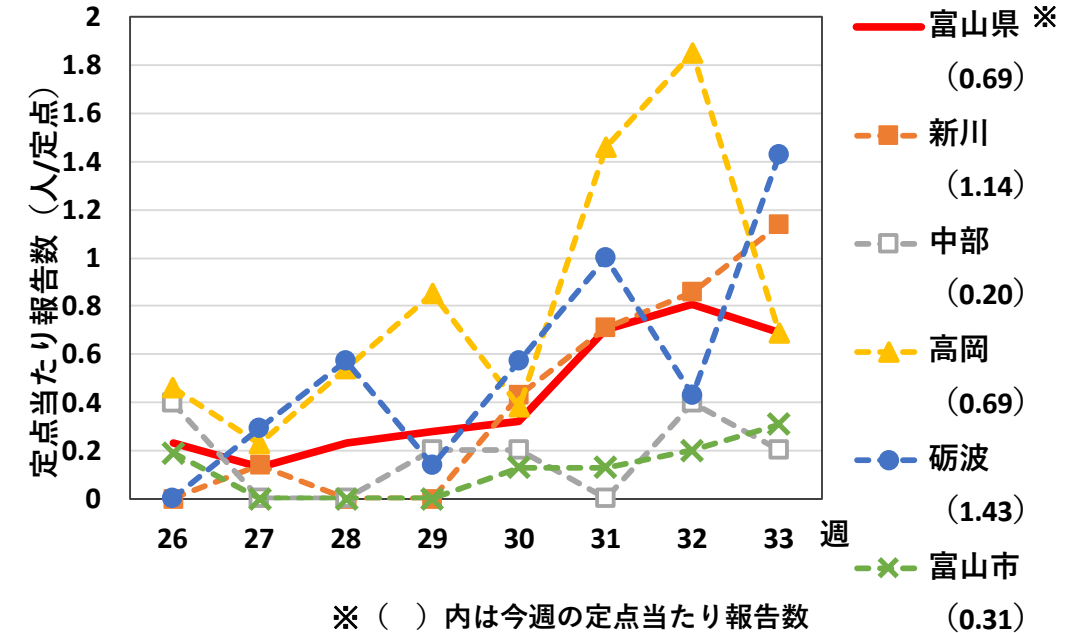


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 富山県の患者報告数は今週0.69人/定点となり、先週（0.81人/定点）から減少した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、新川、砺波、富山市管内で増加した一方、その他の管内では減少した。（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

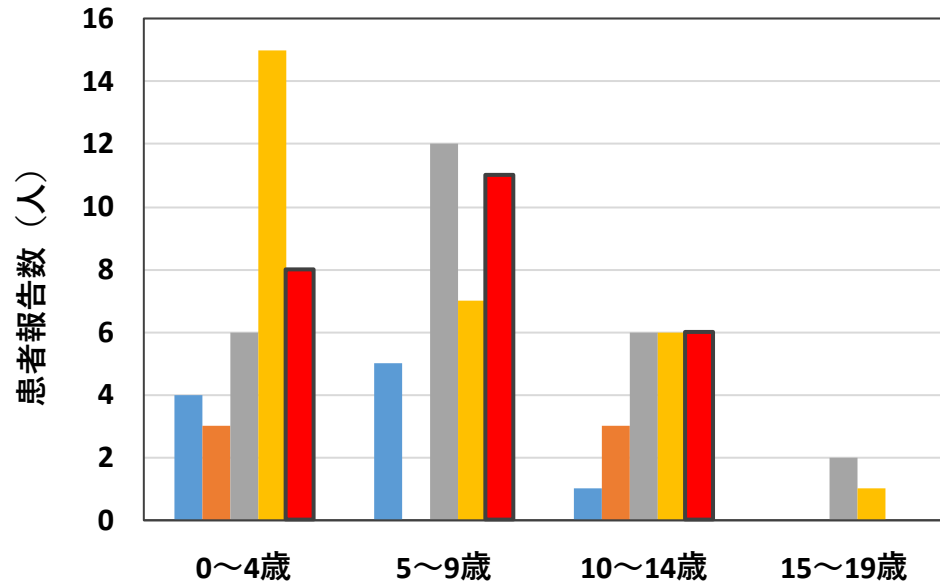
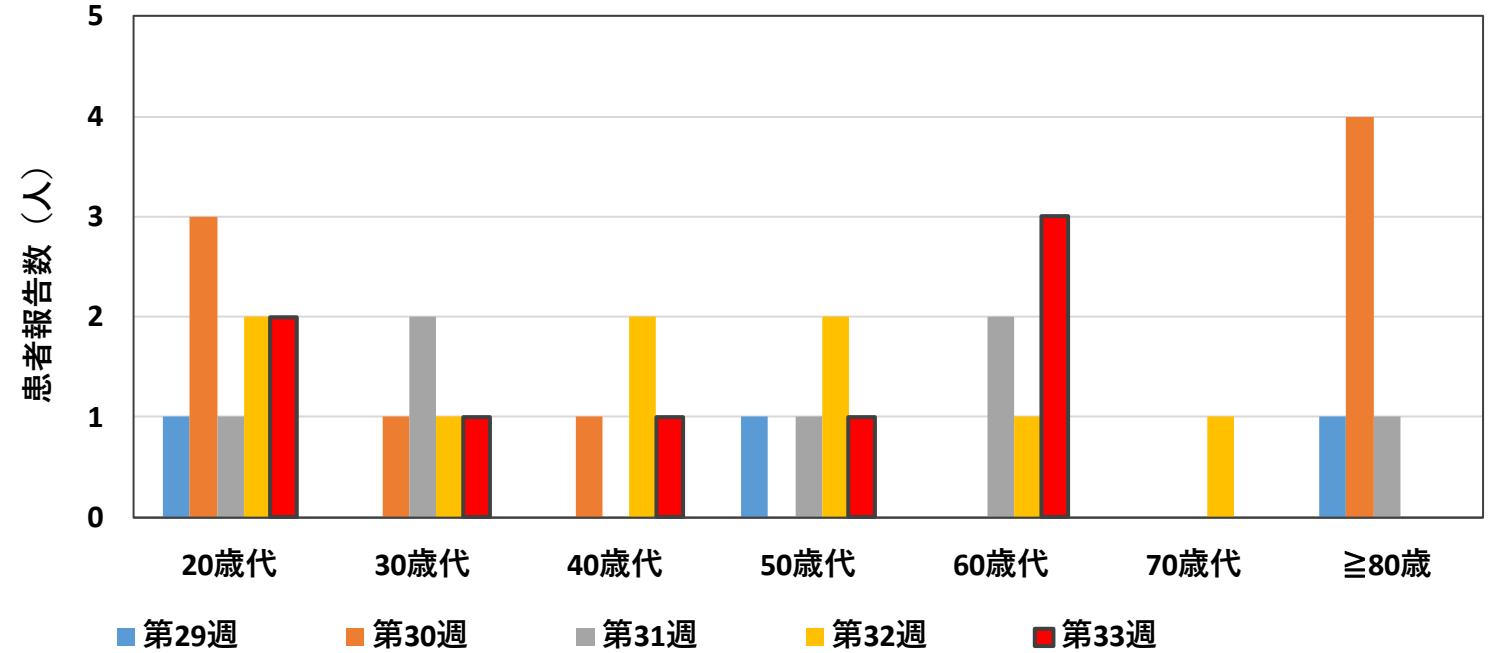


図3-2. ≥20歳



- 5~9歳、60歳代で先週から増加した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

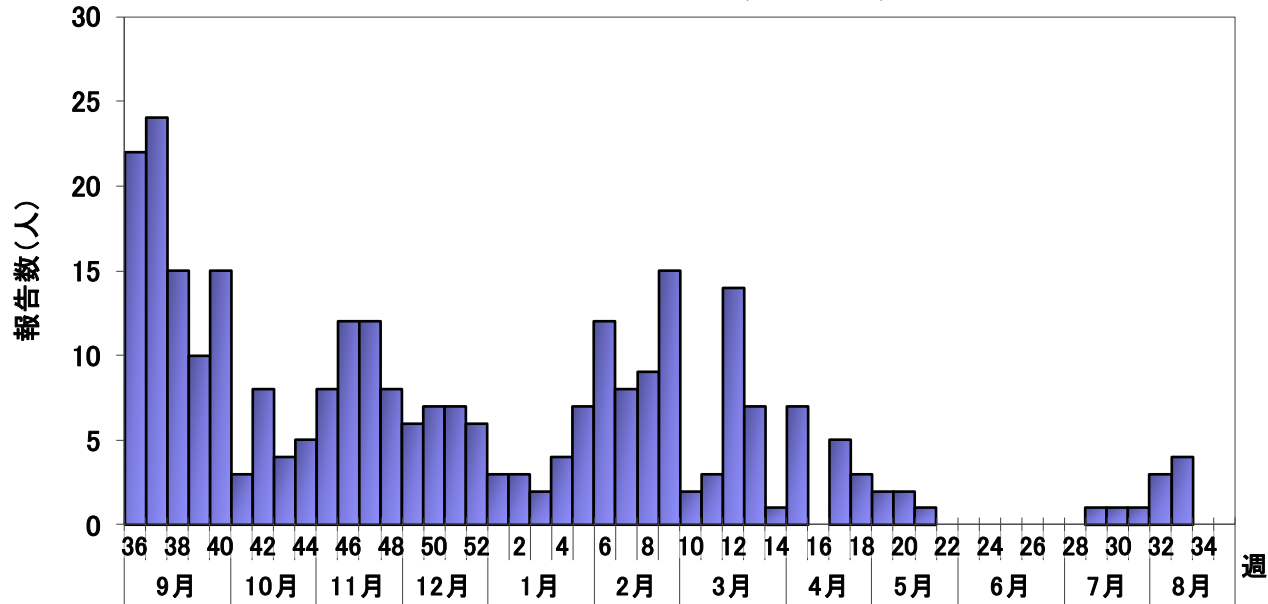
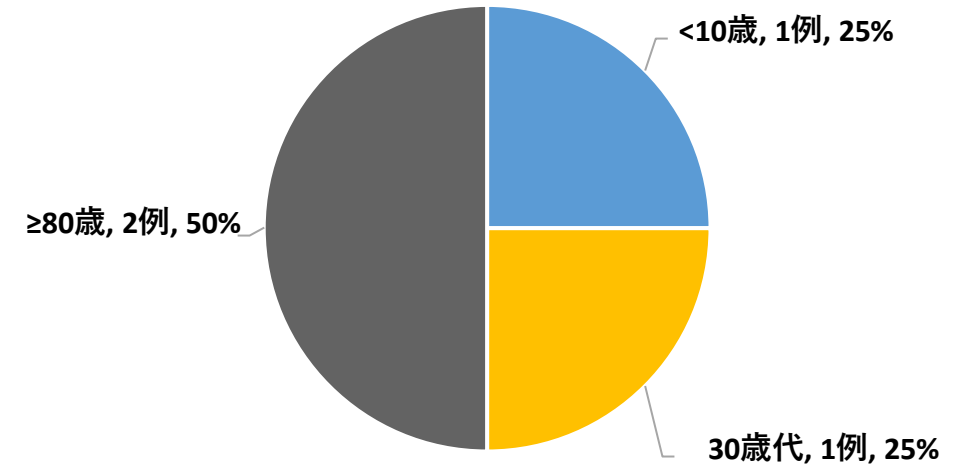


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第33週、4例）



※割合(%)は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第33週に4例の入院報告があり、先週（3例）から増加した（図4）。
- ・ 入院患者の年代は、10歳未満、30歳代がそれぞれ1例、80歳以上が2例であった（図5）。
- ・ 県内のCOVID-19の患者報告数は、第28週から第32週にかけてゆるやかに増加していたが、今週減少した。お盆期間に伴う定点医療機関の休診等の影響により、流行状況を過小評価している可能性がある。例年、夏季に報告数が増加しており、引き続き今後の患者発生動向を注視したい。